



IV 計画の推進

計画の推進

1 財政収支との整合

この計画では、本書に掲載している「基本構想」と「基本計画」のほか、「基本計画」に掲げている各施策を推進する具体的な事業をまとめた「実施計画」を別途策定しています。

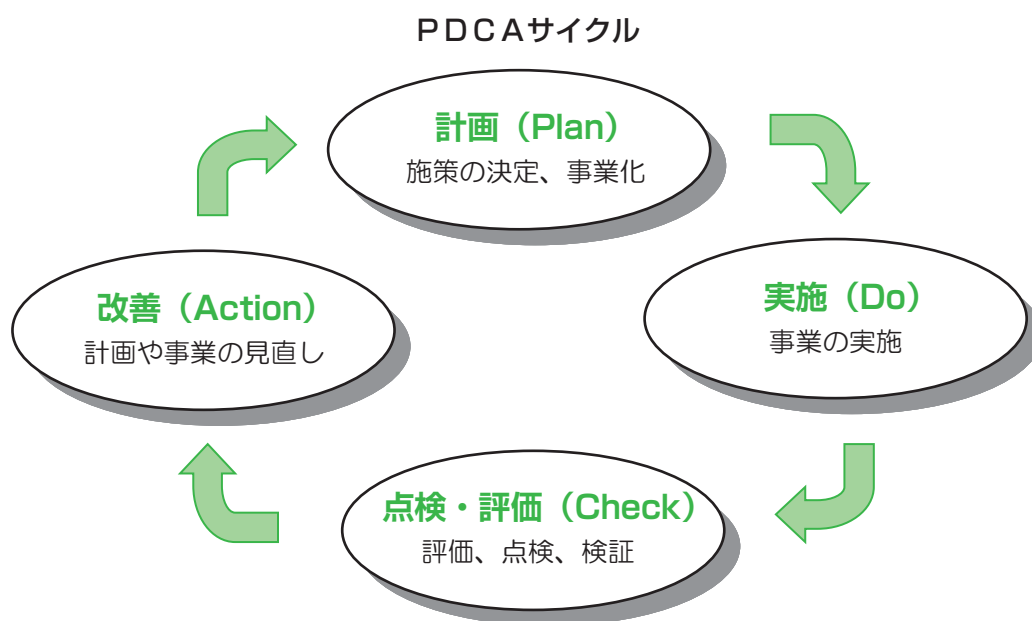
「実施計画」は、町の財政状況をふまえて計画的に事業を推進できる内容となっており、3年分の計画内容を毎年見直すことにより、事業の実施状況と予算の管理を行います。

2 計画の効果的な推進

この計画に掲げた施策を、限られた財源と計画期間の中で進めていくには、実施による効果を検証しつつ、推進方法や優先順位を常に考えながら取り組んでいくことが重要です。

総合計画（plan）を機軸として施策を進め（do）、設定した目標指標の達成度を客観的に評価し（check）、必要に応じて推進方法や優先順位の見直しを行い（action）、次の展開に反映していく、PDCAサイクル^{*}により計画が効果的に進むよう努めます。

^{*}PDCAサイクル：進行管理を計画（plan）、実行（do）、点検・評価（check）、改善（action）の順に進めていくシステムのことです。



3 協働を基本とした推進体制の確立

この計画は、町が主体となって進めるもの以外に、町民や各種団体、民間事業者などが主体となるもの、各主体が相互に協力して進めるものなど、さまざまな主体による取り組みで構成しています。

本町に関わるさまざまな主体が、町とともにこの計画を共有し、対等な立場で互いに意見を交わし協力し合える、協働を基本とした推進体制で計画を進めていくことが必要です。